



資 料 編

資料編

「人権問題に関する市民意識調査」調査票

人権問題に関する市民意識調査
調査票

日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎調査として活用するため、市民のみなさまに、人権問題についての考えをお聞きするものです。
調査の趣旨をご理解いただき、お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

令和3年12月
金 沢 市

1. 調査の対象

金沢市にお住まいの18歳以上の方2,500人（無作為による抽出）

2. ご回答方法

下記のいずれかの方法を選択ください。（回答に要する時間は20分程度です）

①インターネットによる回答

下記のURL、もしくはQRコードからご回答ください。

この調査の委託事業者（アシスト株式会社：名古屋市緑区）が
運営管理する回答専用ページに移動します。

URL：https://kana211.com/



※インターネットでご回答いただいた方は、紙の調査票の返送は不要です。

②郵送による回答

調査票をご記入後、同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、郵便ポストに
投函してください。

3. ご回答期限

令和3年12月20日（月）

4. データの取り扱い等

○調査は、無記名で実施します。

○この調査票に記入された内容は統計的に処理しますので、個人の回答内容が
外部にもれたり、あなた自身にご迷惑をかけることはありません。

○この調査は、他の目的に利用することはありません。

本調査について、ご不明な点等がございましたら、下記までご連絡ください

【お問い合わせ先】金沢市市民局ダイバーシティ人権政策課

電話：076-220-2095 FAX：076-260-1178

E-mail：jinken@city.kanazawa.lg.jp

1 差別に対する考えについて

問1 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次にあげるA～Lのすべてについて、あなたがまず頭に浮かんだことをお答えください。
(A～Lのそれぞれに○は1つ)

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない
A 差別は、人間として恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
B 差別は世の口に必要なこともある	1	2	3	4	5
C 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
D 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
E あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
F 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力する必要がある	1	2	3	4	5
G 差別される人の言葉や思いをきちんと聞く必要がある	1	2	3	4	5
H 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない	1	2	3	4	5
I 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
J 差別をうけた人に対する支援や保護などの救済制度を充実させる必要がある	1	2	3	4	5
K 差別をなくすための施策の策定や決定に当事者の参画を促進させる必要がある	1	2	3	4	5
L 差別を問題にすることによって、より問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5

2 人権問題についての考えや意見について

問2 あなたは「人権」について、関心がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 関心がある | 2. 少し関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |

問3 日本の社会には、基本的人権にかかわる様々な人権問題があります。あなたが関心のあるものをすべてあげてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 女性の人権問題 | 2. 子どもの人権問題 |
| 3. 高齢者の人権問題 | 4. 障がいのある人の人権問題 |
| 5. 部落差別(同和問題) | 6. 日本に居住している外国人の人権問題
(ヘイトスピーチ※ ¹ を含む) |
| 7. アイヌの人々の人権問題 | 8. HIV感染者の人権問題 |
| 9. ハンセン病患者やその家族の人権問題 | 10. 刑を終えて出所した人の人権問題 |
| 11. 犯罪被害者やその家族の人権問題 | 12. インターネットによる人権侵害 |
| 13. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の
人権問題 | 14. 人身取引(性的搾取、強制労働等を目的と
した人身取引)に関する人権問題 |
| 15. ホームレスの人権問題 | 16. 性的マイノリティ※ ² (LGBT※ ³ 等)の
人権問題 |
| 17. 死刑制度やえん罪事件など司法制度に関する人権問題 | 18. 東日本大震災※ ⁴ に伴う人権問題 |
| 19. 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題 | 20. その他() |
| 21. 特になし | |

※1) ヘイトスピーチとは、一般に憎悪(ぞうお)に基づく差別的な言動のことを言いますが、この調査では、特定の人種や民族であることを理由として、日本社会から追い出そうとしたり、人格をおとしめたり、危害を加えようとするなどの不当な差別的言動として用いています。平成28年に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」、いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」が施行されています。

※2) 性的マイノリティとは、LGBT(※3)など、恋愛や性愛の対象が同性の人や、出生時に判定された性と自認する性が異なる人などの総称として用いています。

※3) LGBTとは、レズビアン(Lesbian:女性同性愛者)、ゲイ(Gay:男性同性愛者)、バイセクシュアル(Bisexual:両性愛者)、トランスジェンダー(Transgender:性同一性障害者などで、出生時に割り当てられた性別に違和感や距離感を抱いている人)の頭文字をとった、性的少数者の総称の一つです。

※4) 東日本大震災に伴う人権問題とは、避難生活の長期化に伴うトラブル、被災地からの避難者に対するいじめや福島第一原発事故に伴う風評に基づく偏見、差別、誹謗中傷などがあげられます。

問4 日常生活の中で、あなたご自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|------------------|
| 1. ある | 2. ない -----> 問5へ |
|-------|------------------|

問4-1・4-2は、問4で「1. ある」と回答した方にお聞きます。

問4-1 それはどのような内容ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. 暴力・脅迫・虐待・強要など | 2. セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ) |
| 3. 職場・学校などでの不当な扱い(パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントなど) | 4. あらぬ噂や悪口、かげ口などで信用を傷つけられた、または侮辱されたこと |
| 5. 役所や医療機関などでの不当な扱い | 6. プライバシーの侵害 |
| 7. ドメスティック・バイオレンス(配偶者・恋人・同居人などからの暴力) | 8. 地域住民からのいやがらせ・迷惑行為 |
| 9. 人種・信条・性別・性的指向・社会的身分等にもとづく不当な扱い | 10. 学校でのいじめ |
| 11. 悪臭・騒音等の公害 | 12. 社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い |
| 13. 児童虐待 | 14. その他() |

問4-2 その時にどのような対応をしましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 相手に抗議した | 2. 身近な人に相談した |
| 3. 弁護士に相談した | 4. 警察に相談した |
| 5. 法務局・人権擁護委員に相談した | 6. 県や市に相談した |
| 7. 民間団体・ボランティアに相談した | 8. 黙ってがまんした |
| 9. その他() | 10. おぼえていない |

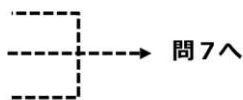
問5 あなたは、今までに他人に対し、差別や人権侵害をしたことがありますか。(○は1つ)

※問4-1を参考にお答えください。

1. あると思う 2. 自分では気づかなかったが、あるかもしれない 3. ないと思う

問6 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたは、どう思いますか。(○は1つ)

1. 非常にそう思う
2. かなりそう思う
3. あまりそうは思わない
4. まったくそうは思わない
5. わからない



問6で「1. 非常にそう思う」「2. かなりそう思う」と回答した方にお聞きします。

問6-1 そう思われた理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 地域や職場で、いじめや嫌がらせ、うわさ話などで人を傷つける人が増えたと思うから
2. 人権問題に関心ない人や他人事であるという意識の人が増えたと思うから
3. インターネットやSNSで誹謗中傷(ひどい悪口)の書き込みをする人が増えたと思うから
4. 女性、子ども、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力が増えたと思うから
5. 学校でのいじめや教師による体罰などが増えたと思うから
6. 新型コロナウイルス感染症に関わる様々な差別や誹謗中傷(ひどい悪口)が生じているから
7. その他()

3 女性の人権について

問7 女性の人権尊重に関して、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 「男は仕事、女は家事・育児」など、男女の固定的な役割分担意識を持つ人が多いこと
2. 職場において、採用時あるいは昇進・昇格時などで男女の待遇に違いがあること
3. 社会において、女性の伝統行事への参加制限といった習慣やしきたりが残っていること
4. 家事・育児や介護などを、男女が共同して担うことができる社会の仕組みが十分整備されていないこと
5. 広告やポスターなどで、内容に関係なく女性の水着姿などを使用していること
6. 政策や方針を決定する過程に女性が十分参画していない、または参画できないこと
7. セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスや性暴力があること、またはそれらに対する世の中の理解が不足していること
8. 売春やアダルトビデオ等への出演などを強要されること
9. 「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること
10. その他() 11. 特に問題と思うことはない 12. わからない

問8 あなたは、女性の人権を守るために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 女性の人権を守るための啓発活動を推進する | 2. 採用時あるいは昇進・昇格時において男女の均等な待遇を行うことを企業等に指導する |
| 3. 家庭生活と職場の両立が容易になるような就労環境の整備を企業等に指導する | 4. 公的機関、企業等の政策方針の決定過程に、より多くの女性が参画できるような措置をとる |
| 5. 学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる | 6. 男女が共同して家庭生活や地域活動に携われるような社会づくりを推進する |
| 7. 地域における習慣やしきたりの見直しが進むよう啓発広報活動を推進する | 8. 望まない妊娠など女性の人権に対する相談体制を充実させる |
| 9. 捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出やすいようにする | 10. テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規定を強化する |
| 11. その他 () | 12. 特にすべきことはない 13. わからない |

4 子どもの人権について

問9 子どもの人権尊重について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 「仲間はずれ」や「無視」、身体への直接攻撃やSNSを使った誹謗中傷など、相手がいやがることをしたり、させたりするいじめを行うこと | 2. 親が子どもを虐待すること |
| 3. 学校や就職の選択など、子どもの意見について、親がその意見を無視すること | 4. 学校で教師が体罰を行うこと |
| 5. 子どもの優劣を成績や学歴だけで判断すること | 6. 生まれつきまたは事故や病気で見た目に症状のある人が差別やいじめを受けること |
| 7. 子どもの権利を社会や大人が認めていないこと | 8. 性犯罪・性暴力の対象となること |
| 9. ヤングケアラー※ ⁵ となること | 10. その他 () |
| 11. 特に問題と思うことはない | 12. わからない |

※5) ヤングケアラーとは、通学や仕事をしながら家族の介護や世話、家事や労働を日常的に担っている子どもの事を言います。

問10 あなたは、子どもの人権を守るために、行政・学校等の公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. 子どもの人権相談、電話相談やチャット相談の体制を充実させる | 2. 子どもの人権を守るための啓発広報活動を推進する |
| 3. 子どもの個性・自主性を尊重するような社会づくりを推進する | 4. 家庭における親の教育力を向上させる |
| 5. 学校で「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」ができるように人権教育をする | 6. 行政が子どもの人権を尊重する教育や意識啓発に力を入れる |
| 7. 学校において教職員が子どもの人権を尊重する | 8. 公的機関の職員の人間性、指導力を高める |
| 9. 家庭・学校・地域の連帯意識を高め、地域の教育力を回復させる | 10. 子どもが被害者となる犯罪の取り締まりを強化する |
| 11. 児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする | 12. マスメディアの情報（テレビやゲームの暴力シーン等）発信のあり方を見直す |
| 13. インターネットやスマートフォンの利用等に関わるメディアリテラシー※ ⁶ 教育の推進にかかわる取り組みを行う | 14. 奨学金などを含む教育を受けるための制度に関する情報発信をする |
| 15. その他 () | 16. 特にすべきことはない 17. わからない |

※6) メディアリテラシーとは、メディアから得た情報を主体的に読み解き発信するスキルの事を言います。

5 高齢者の人権について

問11 高齢者の人権尊重について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

1. 経済的に自立が困難なこと
2. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
3. 差別的な言動をされること
4. 悪質商法、特殊詐欺の被害が多いこと
5. 病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
6. 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
7. 高齢者が邪魔者扱いされ、つまはじきにされること
8. アパート等への入居を拒否されること
9. 判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること
10. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
11. 道路の段差解消やエレベーターの設置など、高齢者が暮らしやすい街づくり(バリアフリー化)が進んでいないこと
12. その他 ()
13. 特に問題と思うことはない
14. わからない

問12 あなたは、高齢者の人権を守るために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 高齢者のための人権相談や電話相談を充実させる
2. 「敬老の日」「老人週間」などの行事を通じ、高齢者の福祉について、関心と理解を深める
3. 学校や家庭、地域で、高齢者に対する尊敬や感謝の心を育てる機会を設ける
4. 高齢者が能力や知識、経験を活かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動、就業の機会を増やす
5. 年金や住宅、福祉、医療サービスなどの充実で高齢者の生活の安定を図る
6. 高齢者をねらった犯罪等の防止など、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる
7. 高齢者を画一的にみるのではなく、多様な人々を考慮した施策を充実させる
8. 自由に行動したり買い物に出かけられるよう、駅の階段や道路の段差の解消、公共交通機関の整備を促進する
9. 地域全体で高齢者を見守る仕組みをつくる
10. その他 ()
11. 特にすべきことはない
12. わからない

6 障がいのある人の人権について

問13 障がいのある人の人権尊重について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

1. 障がいのある人に対する心理的な障壁（バリア）があること
2. 障がいのある人の生活上の不便さなどに関する人々の認識が欠けていること
3. 道路の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい街づくり(バリアフリー化)が進んでいないこと
4. スポーツ活動や文化活動などへの参加に配慮がなされていないこと
5. 就労の機会が少なく、また職種も限られていること
6. 障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近な地域に少ないこと
7. 身近な地域での福祉サービスが十分でないこと
8. 就学にあたり地域の学校が選びにくく、障がいのある児童と障がいのない児童が共に学ぶ機会が少ないこと
9. じろじろ見られたり、避けられたりすること
10. その他 ()
11. 特に問題と思うことはない
12. わからない

問14 あなたは、障がいのある人の人権を守るために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか (○はいくつでも)

1. 障がいのある人の人権を守るための啓発広報活動を推進する
2. 障がいのある人が安心して外出できるよう道路や建物、公共交通機関などを改善する
3. 障がいのある人がスポーツ活動や文化活動に参加しやすくする
4. 障がいのある人の就労機会を確保する
5. サービスの拡充や障害福祉施設の整備を行う
6. 障がいのある人の財産保全や管理のための公的サービスを提供する
7. 学校教育や社会教育において、障がいのある人への差別や偏見をなくすように教育、学習の場を充実させる
8. 障がいのある人のための各種相談や情報提供事業を進める
9. 地域全体で障がいのある人を支援する仕組みをつくる
10. 障がいのある児童と障がいのない児童が共に学ぶことができるような学校づくりを進める
11. その他 ()
12. 特にすべきことはない
13. わからない

7 同和問題について

問15 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」などとよばれて差別を受けている地区があること、あるいは、「部落差別（同和問題）」といわれている差別問題があることを知っていますか。（○は1つ）

- 1. よく知っている（人に説明できる）
- 2. ある程度は知っている（人に説明する自信はない）
- 3. 言葉は聞いたことがあるが、よく知らない
- 4. 知らない

-----> 問 16 へ

問15で「1. よく知っている」「2. ある程度は知っている」と回答した方にお聞きします。

問15-1 あなたが知っている部落差別についての認識をお聞かせください。（○は1つ）

- 1. 現在も身近にある問題だと思う
- 2. 身近な問題ではないが、ほかの地域では問題だと思う
- 3. かつては問題があったが、解決に向かっていると思う
- 4. 過去の問題だと思う
- 5. わからない

問16 あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか。（○は1つ）

- 1. 知っている
- 2. 法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 3. 知らない

問17 かりに、あなたが被差別部落の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。（○は1つ）

- 1. 周囲の意見にとらわれず、自分の意志を貫いて結婚する
- 2. 周囲の説得したのちに、自分の意志を貫いて結婚する
- 3. 家族や親戚の反対があれば、結婚しない
- 4. わからない

問18 かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落の人であると分かった場合、あなたはどうしますか。（○は1つ）

- 1. 子どもの意思を尊重し、結婚に賛成する
- 2. 親としては反対するが、子どもの意志が強ければ結婚に賛成する
- 3. 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- 4. 結婚を認めない
- 5. わからない

問19 現在でも部落差別が存在するその原因は、どこにあると思いますか。(○はいくつでも)

1. 部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから
2. 落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから
3. これまでの教育や啓発が十分でなかったから
4. 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから
5. 地域社会や家庭において偏見が植え付けられることがあるから
6. 旧同和地区が行政から優遇されていたように感じるから
7. 道路や水道などのインフラ整備が十分でない地域がまだ残っているから
8. 「同和は怖い」という意識がまだ残っているから
9. 教育や啓発をやり過ぎたから
10. その他 ()
11. わからない

問20 あなたは、部落差別問題を解決するために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 部落差別問題の解決に向けた施策に積極的に取り組む
2. 小・中学校などの人権教育で、同和問題に関する正しい知識を教える
3. 被差別部落住民の自立を支援する取り組みを進める
4. 被差別部落と周辺地域の人々の交流を図り、協働してまちづくりを進める
5. 市民の人権意識を高めるための啓発広報活動に力を入れる
6. 差別をなくすための運動を支援する取り組みを進める
7. 市民が、自ら差別や人権について学ぶ総合的な場を充実させる
8. 相談体制を充実させる
9. 人権が侵害された場合の救済制度を充実させる
10. 差別をしたり、差別を利用するような場合には、法律で処罰する
11. その他 ()
12. 特にすべきことはない
13. わからない

8 日本に居住している外国人の人権について

問21 日本に居住している外国人の人権尊重について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること
2. 住宅を容易に借りることができないこと
3. 年金や医療保険などの保険制度について、情報提供が十分でないこと
4. 宗教・習慣が違うことで、地域社会が受け入れようとしないこと
5. 在日外国人の子どもに対し、自国の言語・宗教や生活習慣にそった教育が行われていないこと
6. 日本の言語・習慣に不慣れな在日外国人が日本語や日本の習慣を学習する機会が少ないこと
7. 外国籍を理由に就職を拒否されること
8. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
9. じろじろ見られたり、避けられたりすること
10. いわゆるヘイトスピーチなどの差別的言動を受けること
11. その他 ()
12. 特に問題と思うことはない
13. わからない

問22 あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 在日外国人の文化や生活習慣などに関する人々の理解を深める
2. 一定の要件（例えば永住権の有無など）を満たした在日外国人に参政権を付与する
3. 在日外国人のための就労の場を確保する、または就労待遇を改善する
4. 在日外国人の社会保障などを強化する
5. 外国人であることを理由とする入居差別を規制する
6. 外国人との結婚に対する日本社会の偏見をなくすための啓発活動をする
7. 在日外国人の子どもに対し、自国語や自国の宗教・生活習慣を学ぶ機会を保障する
8. 在日外国人に対し、日本語や日本の習慣を学ぶ機会を保障する
9. 在日外国人に対する就職の門戸を開放する（国籍条項の見直しなど）
10. ヘイトスピーチ解消法についての啓発活動をする
11. その他 ()
12. 特にすべきことはない
13. わからない

9 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権について

問23 あなたは、HIV感染者^{※7}（エイズ患者を含む）・ハンセン病患者^{※8}（元患者を含む）等の人権尊重について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1. HIV感染者・ハンセン病患者に対する正しい理解・認識が社会一般に普及していないこと
2. HIV感染者・ハンセン病患者というだけで世間から好奇の目で見られたり、偏見をもたれたりすること
3. HIV感染者に対する解雇・医療拒否やハンセン病患者に対する宿泊拒否などがしばしば起こること
4. ハンセン病元患者の社会復帰が難しいこと
5. ハンセン病患者の家族に対する偏見が存在していること
6. ハンセン病患者に対する国の過去の隔離政策の誤りが十分に周知されていないこと
7. その他（ ）
8. 特に問題と思うことはない
9. わからない

※7) HIV感染者とは、一般にヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染しても発症していない人をいい、発症した人は一般にエイズ患者と呼ばれます。HIVは感染力が著しく弱く、発症した場合であっても、通常の生活では生活を共にしても感染しませんが、病気に対する正しい知識と理解不足から、偏見や差別が生じています。

※8) ハンセン病患者とは、らい菌に感染して発症した人をいい、かつては「らい病」と呼ばれて遺伝病・伝染病と考えられ、誤った隔離政策や全国で展開された「無らい県運動」などから偏見や差別を受けてきました。感染力は著しく弱く、現在では薬で感染も抑制でき、治療法も確立していますが、病気に対する正しい知識と理解不足から、今なお人権問題が残っています。

問24 あなたの地域や職場にHIV感染者（エイズ患者を含む）やハンセン病患者（元患者を含む）がいた場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。（○は1つ）

1. その人のために何か支援しようと思う
2. 今までどおり、普通に接すると思う
3. なるべく関わりたくないと思う
4. 関わりたくないと思う
5. その他（ ）
6. わからない

問25 あなたは、HIV感染者（エイズ患者を含む）・ハンセン病患者（元患者を含む）等の人権を守るために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。（○はいくつでも）

1. HIVやハンセン病という病気についての正しい知識の普及啓発
2. 学校教育の場における、HIVやハンセン病の病気自体やその治療法、あるいはその感染者・患者の人権についての教育を充実させる
3. HIV感染者やハンセン病患者の就職の機会を確保する
4. HIV感染者やハンセン病患者を支援するため、保健所、医療機関、NGO（非政府組織）などとのネットワーク構築および情報発信を進める
5. HIV感染者やハンセン病患者等のための人権相談や電話相談を充実させる
6. HIV感染者やハンセン病患者等のための医療体制を充実させる
7. その他（ ）
8. 特にすべきことはない
9. わからない

10 刑を終えて出所した人の人権について

問26 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動をしませんかと誘われたら、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

1. 更生保護活動は大切な仕事であり、そういう仕事を自分もしたいと思う
2. 更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない
3. 犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんともいえない
4. 刑を終えた人とはいえ、過去に犯罪歴のある人には何もしたくない
5. 特に関心がないため、活動をしたいと思わない
6. その他 ()
7. わからない

問27 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

1. これまでと同じように、親しくつきあっていく
2. つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう
3. 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいをさけていく
4. つきあいをやめてしまう
5. その他 ()
6. わからない

11 インターネットによる人権侵害等について

問28 あなたは、インターネットによる人権侵害等について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報が掲載されている
2. 出会い系サイト、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）やネットゲームなどによる交流が犯罪を誘発する場となっている
3. 被害者や加害者の実名や顔写真等の情報が無断で掲載されている
4. ネットポルノなど違法・有害なホームページが存在する
5. 情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい
6. 情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい
7. 個人情報やプライバシーに関する情報の流出などの問題が多く発生している
8. 悪質商法によるインターネット取引での被害が発生している
9. リベンジポルノ（元交際相手などの性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為）が行われている
10. 画像や個人情報などが一旦掲載されると拡散し、完全に消去するのが困難となる
11. その他 ()
12. 特に問題と思うことはない
13. わからない

問29 あなたは、インターネット上で部落差別の問題に関する人権侵害事例を見たことがありますか。(○は1つ)

1. インターネットを利用したことがない
2. インターネットを利用しているが、見たことがない
3. 見たことがある

-----> 問 30 へ

問29で「3. 見たことがある」と回答した方にお聞きます。

問29-1 どのような内容のものを見ましたか。(○はいくつでも)

1. 個人を名指した悪口
2. 個人を名指ししない、集団に対する悪口
3. 旧被差別部落名の公表
4. 差別の呼びかけ
5. その他 ()

問30 あなたは、インターネットによる人権侵害等を防ぐために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 人権を侵害するような不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化し、プロバイダー（インターネット接続業者）などに対して、情報の停止、削除を求める制度を整備する
2. 情報の収集・発信における個人の責任や情報モラルなどの啓発活動を行い、市民の意識の高揚に努める
3. 学校教育の場で、情報モラルやネットリテラシー（インターネットを正しく使いこなすための知識や能力）についての教育を充実させる
4. インターネットによる被害や人権侵害を受けた人のための相談・救済体制を充実させる
5. 実名登録を義務づけるなど、情報の発信者に対する制限を設ける
6. 加害者に対する罰則規定を設けるなど、法令等により規制する
7. 憲法の保障する表現の自由にもかかわる問題であり、慎重に対応する必要がある
8. プロバイダ（インターネット接続業者）等の自主規制の取組を推進させる
9. その他 ()
10. 特にすべきことはない
11. わからない

12 犯罪被害者等の人権について

問31 あなたは、犯罪被害者等への支援を充実させていくために、行政等公的機関がすべきことはどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. マスメディア等を活用して積極的なキャンペーンを実施する
2. 支援ボランティアを育成する
3. 子どもや学生を対象とした普及啓発教室を開催する
4. 犯罪被害者等の声を伝える講演会の開催や手記の配布をする
5. 犯罪被害者等支援のための標語・ポスターを募集する
6. 犯罪被害によって生じた精神的ショックや身体の不調に対する相談体制を充実させる
7. 犯罪被害によって生じた経済的困窮に対して支援するしくみを充実させる
8. その他 ()
9. 特にすべきことはない
10. わからない

13 性的マイノリティ（LGBT等）の人権について

問32 あなたは、同性愛、両性愛といった性的指向や、生物学的な性と出生時に割り当てられた性別に違和感や距離感を抱いているトランスジェンダーに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（〇はいくつでも）

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 就職・職場で不利な扱いを受けること
3. 差別的な言動をされたり、暴力を受けること
4. 同性間の結婚が法制度化されておらず、結婚の自由がないこと
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
7. じろじろ見られたり、避けられたりすること
8. アウティング※9を受けること
9. 自殺率の高さや貧困に陥りやすい状況が軽視されていること
10. その他（ ）
11. 特に問題と思うことはない
12. わからない

※9）アウティングとは、性的指向・性自認について、本人の了解を得ずに、第三者に暴露する行為の事を言います。

問33 あなたは、性的マイノリティ（LGBT等）の人権を守るために、行政としてどのような取り組みが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 性的マイノリティの人権を守るための啓発活動を推進する
2. 性的マイノリティのための人権相談、電話・チャット相談を充実する
3. 学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する
4. 法律で性的マイノリティに対する差別を禁止する
5. 性的マイノリティの法律婚を可能とする
6. パートナーシップ宣誓制度※10など、同性カップルなどを公認する制度をつくる
7. 性的マイノリティが職場等で不当な扱いを受けない働きやすい環境を整備する
8. 公共施設や店舗等のトイレや更衣室など、トランスジェンダーが生活しやすい環境を整備する
9. 役場への申請書やアンケートの性別欄をトランスジェンダーやノンバイナリー※11に配慮したものにする
10. その他（ ）
11. 特にすべきことはない
12. わからない

※10）パートナーシップ宣誓制度とは、地方自治体が、同性のカップルを「婚姻に相当する関係」と認め、自治体独自の証明書を発行する制度。本市は、令和3年7月1日に制度を導入しました。

※11）ノンバイナリーとは、自身の性自認、性表現に「男性」「女性」といった枠組みをあてはめようしない性のあり方の事を言います。

14 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題について

問34 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する人権問題^{※12}を解決するために、行政としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 感染者やその家族、医療従事者、ワクチン接種に関する人権を守るための啓発活動を推進する
2. 学校において、新型コロナウイルス感染症に関する人権について、理解を深める教育を充実する
3. 新型コロナウイルス感染症に関する人権についての相談窓口、電話相談を充実する
4. 法律で新型コロナウイルス感染症に関する差別を禁止する
5. その他 ()
6. 特にすべきことはない
7. わからない

※12) 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題とは、新型コロナウイルス感染症をめぐって、医療従事者に対する入店拒否、その家族に対する出勤拒否やいじめ、感染者に対する誹謗中傷、県外からの来訪者への非難・嫌がらせ、ワクチン未接種者に対する不当な扱いなどのさまざまな人権問題が起きている。

15 行政への要望等について

問35 市では、人権問題の解決に向けてさまざまな啓発活動を行っています。あなたは、市が啓発活動を行う場合、どのような方法や媒体が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. チラシやパンフレット | 2. 新聞広報や新聞広告 |
| 3. 街頭啓発 | 4. ポスター |
| 5. テレビ | 6. ラジオ |
| 7. ホームページや SNS | 8. インターネットによる動画配信 |
| 9. 講演会・研修会・学習会など | 10. その他 () |
| 11. わからない | |

問36 人権問題の解決のために、公民館などでいろいろな講演会・研修会や人権講座などが開催されていますが、あなたは、これに参加したことがありますか。(〇は1つ)

1. 参加したことがある
 2. 開催されていることを知らなかった
 3. 開催されていることは知っていたが、参加したことはない
- > 問 37 へ

問36で「3. 開催されていることは知っていたが、参加したことはない」と回答した方にお聞きします。

問36-1 講演会・研修会に参加したことがないのはどうしてですか。(〇はいくつでも)

1. 会場が遠いなど、開催場所が限られているから
2. 開催されている時間（主に平日の日中）に都合がつかないから
3. 興味のあるテーマが少ないから
4. 関心がないから
5. その他 ()

問37 人権が尊重される社会を実現するために、行政としてどのような取り組みが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 市民の人権意識を高めるための啓発研修活動を充実させる
2. 学校の場において、人権に関する教育を充実させる
3. 社会に見られる不合理な格差を解消させるための施策を充実させる
4. 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人に対する相談体制や救済策を充実させる
5. 公務員などの公的機関の職員や公的機関、民間企業の社員や民間団体のスタッフ等の人権意識を高めるための研修を充実させる
6. 人権侵害に対する法的な規制を強化する
7. 現状の社会で人権は十分尊重されており、新たな取り組みは不要である
8. その他 ()

最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。これまでお聞きしたことを統計的に分析するために、ご協力をお願いします。

問38 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらともいえない、回答しない |
|-------|-------|--------------------|

問39 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ) ※令和3年12月1日現在の満年齢でお答えください。

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳以上 | |

問40 あなたが現在している仕事は次の中のどれですか。いちばん近いものをお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1. 自営業（農林業、商工サービス業、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者） | 2. 公務員、教員 |
| 3. 民間企業・団体の経営者・役員 | 4. 民間企業・団体（従業員数 30 人未満）の正規の職員・従業員 |
| 5. 民間企業・団体（従業員数 30 人以上）の正規の職員・従業員 | 6. 派遣社員、契約社員、非常勤職員、臨時雇い、パート職員・従業員 |
| 7. その他の有業者 () | 8. 家事専業 |
| 9. 学生または生徒 | 10. 無職（家事専業・学生等を除く） |

問41 人権問題や今後の人権教育・啓発について、ご意見、ご要望があれば、下記の欄に自由にご記載ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

金沢市人権問題に関する市民意識調査 報告書

令和4年3月

発 行：金沢市 市民局 ダイバーシティ人権政策課

住 所：〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

T E L：076-220-2095 F A X：076-260-1178
